

情報公開文書

研究の名称	顎矯正手術適応患者の口腔機能の変化に関する研究
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学学術研究部医学系 歯科口腔外科学講座 助教 今上 修一
研究の概要	<p>【研究対象者】 顎矯正手術に関連する受診歴のある患者さん</p> <p>【研究の目的・意義】 顎変形症患者さんは、不正咬合による咀嚼機能の低下と構音操作の誤りによる異常音声が生じる可能性があります。昨今、咀嚼ならびに構音機能の評価方法が確立されてきましたが、顎手術適応患者さんへの機能改善度の検討に関しての報告は十分ではありません。本研究は、顎矯正手術適応患者さんの口腔機能の変化を調査した後にシステム化し、その治療後効果を可視化することを目的としています。</p> <p>【研究の方法】 富山大学附属病院にて 2010 年 3 月から 2026 年 3 月までに顎矯正手術に関連する受診歴のある患者さんの電子カルテ上に保存されている情報を用い術前後の口腔機能の変化について検討します。</p> <p>【研究期間】 実施許可日～2026 年 3 月 31 日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会発表および論文掲載</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法(他機関への提供の有無)	当院で撮影された画像所見と診療記録(性別や年齢,手術内容,併発症の有無)です。他機関への情報の提供はありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 病院長 林篤志
研究資料の開示	研究対象者,親族等関係者のご希望により,他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学学術研究部医学系 歯科口腔外科学講座 助教 今上 修一
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出,研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-454-7382 FAX 076-434-5041 E-mail tdanki@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学附属病院 歯科口腔外科 今上 修一、高塚 団貴</p>